

都道府県労働局労働基準部
健康安全主務課長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長
(契印省略)

重大災害発生時の速報の報告方法について

重大災害発生時の速報については、これまで、労働基準局報告例規「安衛補501重大災害報告」（別添1）に基づき、主にFAXにより各局から本省あて報告が行われていたところであるが、当該報告事務の簡素化と情報共有の円滑化の観点から、今後は電子メールにより報告を行うこととするので、下記を参照の上、取扱いに遺漏のないようお願いする。

記

1. 報告方法

- (1) 報告様式（別添2）を添付の上、各局担当者から電子メールにより（4）に示す本省安全課担当者3名あて送信を行うこととする。
- (2) 電子メールの体裁については別添3の例のとおりとする。
- (3) 報告様式とともに資料（写真や新聞記事等）を送る際はPDF形式のファイルを添付すること。
- (4) 送信先（担当者）

安全課業務班

岡 [REDACTED] ※本件主担当

吉岡 [REDACTED]

荻野 [REDACTED]

2. 当該方法による報告の適用時期

本通知受領後の速報については、原則として、本通知に定める方法により報告すること。ただし、添付する報告様式については、各局既存の様式を変更することにより、業務に支障が生じる等、やむを得ない事情がある場合は、平成23年度中に限り、従前の様式により報告しても差し支えない。

3. その他留意点

- (1) 労働基準行政システムの電子メールアドレスは、常時チェックすることができず、速報の受理が遅れる可能性があることから、必ず上記1に示す電子メールアドレスあて送信すること。
- (2) 報告対象となる重大災害の基準、中間報告及び結果報告の報告方法については従前どおりとする。
- (3) 緊急に対応を要する重大災害が発生した場合については、本通知に基づく報告と併せて、平成23年8月9日事務連絡「重大災害等発生時における緊急連絡体制について」(別添4)に基づき、各課の緊急連絡先あて連絡を行うこと。
- (4) 報告があった重大災害に関して、本省各課の担当者から必要に応じて照会等を行うので、災害への対応等に係る以後の照会については、当該本省担当者あて行うこと。
- (5) その他、報告方法の変更に係る照会については、上記1の主担当あて行うこと。

安衛補501 重大災害報告

1. 次の各号の一に掲げる災害事故が発生した場合は、2ないし4により報告すること。

ただし、鉱山保安法適用事業場における災害事故であって(2)に該当しないもの並びに交通災害及び食中毒災害については、2ないし4に掲げる事項の一部を省略し又は簡素化することができる。

なお、家内労働災害についても、前記に準じて報告すること。

- (1) 一時に3人以上の労働者が業務上死傷又は病した災害事故
- (2) 爆発、火災、破裂、倒壊、落盤、なだれ、有害物質の大量漏えい、職業性疾病（じん肺は除く。）等であって、行政上注目すべき災害事故又は特異な災害事故

2. 速報

重大災害が発生したときは、直ちに電話、電報又は速達等により、次の各項目について速かに報告すること。

- (1) 発生日時
- (2) 発生場所および事業事名
- (3) 労災保険番号
- (4) 発生状況の概要
- (5) 被害の概況
- (6) 本省より係官の派遣を希望するときはその旨

3. 中間報告

重大災害のうち、行政上特に注目すべき事故については、その状況、原因並びにとった措置等を逐次報告すること。

4. 結果報告

重大災害の調査並びに行政上又は監督上の措置が終了したときは、次の各項目について速かに結果報告を作成して報告すること。

ただし、調査又は措置が30日以上におよぶときは、一応その範囲において報告書を作成し、以後の分については、追加報告すること。

なお、報告書は模写可能な用紙を用いた場合のほか、写一部を添付すること（図面、写真等の添付資料を除く。）。

- (1) 災害の種類
- (2) 発生日時
- (3) 調査年月日
- (4) 発生場所
- (5) 事業の概要
- イ 事業の種類

- ロ 事業の名称
 - ハ 所在地
 - ニ 事業主の職氏名
 - ホ 安全管理者（又は安全推進員）の職氏名労働衛生に関する災害については衛生管理者（労働衛生管理員）の職氏名
 - ヘ 労働者数
 - ト 所定労働時間数
 - チ 労災保険番号
 - リ 保険料納入状況
 - ヌ 最近における安全衛生活動の状況
- (6) 被害状況
- イ 死傷者（氏名、性別、年齢、職種又は職名、傷病名、休業見込日数）
 - ロ 物的被害（被害物件の種類又は名称、被害程度、損害、見積額等）
- (7) 補償費の種類、額および平均賃金
- (8) 発生状況
- (9) 発生原因
- (10) 被害者に対してとられた応急措置およびその適否
- (11) 同種災害を防止するために使用者に与えた命令又は勧告
- (12) 災害関係法令の条章およびこれらに対する違反の有無
- (13) 災害発生前における当該事業場に対する監督、指導実施の有無並びにその状況
- (14) 災害原因と認められる事項についての災害発生前における指示勧告の有無並びにその状況
- (15) 司法処分又は支給制限の必要の有無並びにその状況
- (16) 法令の変更又は施行についての意見およびその事由
- (17) その他新聞等の世論の動向等参考となる事項
- (18) 調査官の所属氏名および面接者
- (19) 同種災害の再発を防止するため局のとした措置並びに意見

安衛補501 重大災害報告(速報)

別添2

第 報

管轄局	コード	管轄監督署

本件担当者： _____
 電話番号： _____

報告日時	元号	年	月	日	時	分
	H					
発生日時	元号	年	月	日	時	分
	H					
発生場所						

死 傷 者 数					
	死亡	負傷又は病		不明	計
		休業	不休		
全被災者					人
うち労働者					人

事 業 場 情 報											
事業場①						事業場②					
事業場(所属)名											
所在地											
業 種		コード				業 種		コード			
労働者数		男	女	計	人	労働者数		男	女	計	人
労働保険番号											

工事名(建設業)	
親企業又は元請	

被 災 者 情 報									
No.	氏名	性別	年齢	職種	被災程度				所属事業場
					死亡	休業見込	不休	不明	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

災害発生状況	災害の種類			起因物		
	コード			コード		
備考						

対応状況		その他(報道等)	
------	--	----------	--

安衛補501 重大災害報告(速報) (続紙)

事		業				場				情				報	
		事業場③								事業場④					
事業場(所属)名															
所在地															
業種		コード					コード								
労働者数		男		女		計	人	男		女		計	人		
労働保険番号															
事		業				場				情				報	
		事業場⑤								事業場⑥					
事業場(所属)名															
所在地															
業種		コード					コード								
労働者数		男		女		計	人	男		女		計	人		
労働保険番号															

被		災			者				情				報	
No.	氏名	性別	年齢	職種	被災程度				所属事業場					
					死亡	休業見込	不休	不明						
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

災 害 発 生 状 況	
----------------------------	--

安衛補501 重大災害報告 (速報)

記載例

第 1 報

「別紙 重災コード一覧表」の「労働局」から該当するコードを入力すること。※隣の黄色セルはコード入力により自動入力される。

管轄局	コード	管轄監督署
東京	13	中央

本件担当者： ○○

電話番号： ○○-○○-○○

報告日時	元号	年	月	日	時	分
	H	22年	10月	13日	10時	10分
発生日時	元号	年	月	日	時	分
	H	22年	10月	12日	17時	0分
発生場所	○○					

	死者数				計
	死亡	負傷又は病 休業	不 休	不明	
全被災者	1人	2人	1人	2人	6人
うち労働者	1人	2人	1人	1人	5人

事業場情報												
事業場①						事業場②						
事業場(所属)名	「別紙 重災コード一覧表」の「業種」から該当するコードを入力すること。※隣の黄色セルはコード入力により自動入力される。 なお、業種コードに対応がない場合は、事業場②の記入例のように、黄色セルの右のセルに業種名を直接入力すること。											
所在地	○○											
業種	コード	22	建設業(建築)	コード	○○							
労働者数	男	30人	女	3人	計	33人	男	13人	女	2人	計	15人
労働保険番号	○○-○○-○○					自動計算	○○-○○-○○					自動計算
工事名(建設業)	○○											
親企業又は元請	○○											

自動計算

一災害で事業場が複数ある場合、事業場を、「1死亡者数」、「2死傷者数」、「3災害の程度」、「4業務関連性」の順に優先順位を付け、1位を「事業場①」、2位を「事業場②」として各欄に記入すること。事業場が3社以上の場合は、様式(続紙)に3社目以降を記載すること。

被災者情報									
No.	氏名	性別	年齢	職種	被災程度				所属事業場
					死亡	休業見込	不 休	不明	
1	○○	男	22	○○	○				①
2	○○	男	43	○○		5日			①
3	○○	男	35	○○		3週間			②
4	○○	女	41	○○			○		③
5	○○	男	22	不明				○	不明
6									
7									
8									
9									
10									

被災者が10名以上の場合は、11人目以降を様式(続紙)に記載すること。

「死亡」、「不休」、「不明」欄には、該当する場合に○を記入すること。「休業見込」欄には、該当する場合に休業見込の期間(○日、○週間、○ヶ月等)を記入すること。

事業場情報の「事業場①-③」に対応した数字(事業場①の場合は①)を記入すること。不明の場合は不明と記入すること。

災害発生状況	災害の種類		起因物		
	コード	12	倒壊(その他の崩壊)	コード	17
備考	「別紙 重災コード一覧表」の「災害の種類」から該当するコードを入力すること。※隣の黄色セルはコード入力により自動入力される。				
	「別紙 重災コード一覧表」の「起因物」から該当するコードを入力すること。※隣の黄色セルはコード入力により自動入力される。				
※従前通りの記載内容とする。 なお、分量が多い場合は様式(続紙)に記載すること。					
①労災請求の状況等、参考となる特記事項があれば記載すること。 ②本省より係官の派遣を希望する場合はその旨記載すること。 ③独立行政法人 労働安全衛生総合研究所より調査員の派遣を希望する場合はその旨記載すること。 ④平成23年6月24日付け事務連絡「東日本大震災の復旧・復興に関する労働災害に係る労働者死傷病報告等への「092」情報の入力について」における「092」の入力対象となる労働災害に該当する場合、文頭に「092」と記載すること。					

対応状況

災調等の調査実施状況等、行政の対応について、「災害調査の実施予定なし」、「第○回○月○日実施予定」、「○○等にて災害調査実施中」、「第○回○月○日実施済み」等を記載すること。

その他(報道等)

災害について、新聞、ニュース等での報道があった場合や記者発表を行った場合、「○○新聞○月○日掲載」、「○月○日記者発表を行いホームページ掲載」等を記載し、掲載内容をPDF形式でメールに添付すること。

別紙 重大災害コード一覧表

労働局
1 北海道
2 青森
3 岩手
4 宮城
5 秋田
6 山形
7 福島
8 茨城
9 栃木
10 群馬
11 埼玉
12 千葉県
13 東京都
14 神奈川県
15 新潟
16 富山
17 石川
18 福井
19 山梨
20 長野
21 岐阜
22 静岡県
23 愛知県
24 三重
25 滋賀
26 京都
27 大阪
28 兵庫
29 奈良
30 和歌山
31 鳥取
32 島根
33 岡山
34 広島
35 山口
36 徳島
37 香川
38 愛媛
39 高知
40 福岡
41 佐賀
42 長崎
43 熊本
44 大分
45 宮崎
46 鹿児島
47 沖縄

業種
1 製造業(食料)
2 製造業(繊維)
3 製造業(衣服)
4 製造業(木材)
5 製造業(家具)
6 製造業(パルプ)
7 製造業(印刷)
8 製造業(化学)
9 製造業(窯業)
10 製造業(鉄鋼)
11 製造業(非鉄)
12 製造業(金属)
13 製造業(一般)
14 製造業(電気)
15 製造業(造船)
16 製造業(輸送)
17 製造業(ガス)
18 製造業(その他)
19 鉱業
20 土石
21 建設業(土木)
22 建設業(建築)
23 建設業(その他)
24 運輸業(鉄道)
25 運輸業(旅客)
26 運輸業(貨物)
27 運輸業(その他)
28 陸上
29 港湾
30 農業
31 林業
32 畜産
33 商工業
34 金融
35 映画
36 通信
37 教育
38 保健
39 接客
40 清掃
41 その他

災害の種類
1 爆発・発破
2 爆発・煙火
3 爆発・引火性料品
4 爆発・可燃性ガス
5 爆発・水蒸気
6 爆発・粉じん
7 爆発・その他の爆発性料品
8 破裂
9 土砂災害(土砂崩壊)
10 落盤
11 雪崩
12 倒壊(その他の崩壊)
13 墜落
14 クレーン等(デリック・索道等)
15 交通事故
16 火災(高熱物)
17 中毒・薬傷
18 電気
19 海難
20 その他

起因物
1 原動機
2 動力伝達機構
3 木材加工用機械
4 建設用等機械
5 一般動力機械
6 動力クレーン等
7 動力運搬機
8 乗物
9 圧力容器
10 化学設備
11 溶接装置
12 炉・窯等
13 電気設備
14 人力機械・工具等
15 用具
16 その他の装置・設備
17 仮設物・構築物等
18 危険物・有害物等
19 材料
20 荷
21 自然環境等
22 その他の起因物
23 起因物なし
24 分類不能

※分類の参考

	災種	起因
ガス	17	18
CO	17	18
酸	17	18
食中	17	22
脳疾	20	23
心臓疾	20	23
交通事	15	8
疥癬	20	22
ノロウイルス	20	22
食中毒(ノロウイルス)	17	22

- 注1) 業種は報告例規の基準分類と概ね対応している(24鉄道→4.1鉄道・軌道・水運・航空業のこと)。造船業は輸送用機械等製造業(1.15)から分離している。
- 注2) 災害の種類は事故の型分類に、起因物は起因物分類にそれぞれ概ね対応している。事故の型分類における「激突され、激突、飛来・落下」等は「20その他」に該当する。
- 注3) 災害の種類(事故の型)・起因物の分類は「労働災害分類の手引」(中災防)を参考にすること。



このメッセージはまだ送信されていません。



宛先... 〇〇 〇〇 〇〇

CC(C)...

件名(U): 【重災速報】〇月〇日〇時発生 〇局 足場からの墜落災害 被災者〇名うち死亡者〇名(第1報)

件名は記載例のように先頭を【重災速報】とし、以下「発生日時」、「局名」、「災害概要」、「死傷者数」、「(第〇報)」を必ず記載すること

標記について添付ファイルのとおり報告します。✪

メール本文は特記事項がある場合を除き上記の文面のみとすること



重災速報報告様式 添付資料.pdf

(〇局100831).xls

様式のファイル名には「労働局名」と「報告年月日(半角数字6桁)」を記載すること
なお、同日に複数回報告を行う場合は、「報告年月日」の後ろに「-〇(報告回数)」を記載すること。
(例) 北海道労働局の2010年8月31日の2回目の報告→「北海道局100831-2.xls」

*****✪

〇〇労働局労働基準部

健康安全課 担当者氏名✪

担当者が確認できるように氏名及び電話番号を記載すること

TEL:〇〇〇(内線〇〇)✪

*****✪

1年未満保存

取扱注意

事務連絡

平成23年8月9日

都道府県労働局労働基準部

健康安全主務課長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部

計画課企画担当課長補佐

重大災害等発生時における緊急連絡体制について

重大災害等緊急に対応を要する事案が発生した場合の本省安全衛生部各課への連絡先が一部変更になりましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、各局の緊急連絡先に変更がある場合も随時ご連絡ください。

記

1 安全課 (直通電話: 03-3595-3225)

主任中央産業安全専門官	野澤 英児	(携帯: ██████████)
主任技術審査官	釜石 英雄	(携帯: ██████████)
副主任中央産業安全専門官	西田 和史	(携帯: ██████████)
副主任中央産業安全専門官	高橋 洋	(携帯: ██████████)

2 労働衛生課 (直通電話: 03-3502-6755)

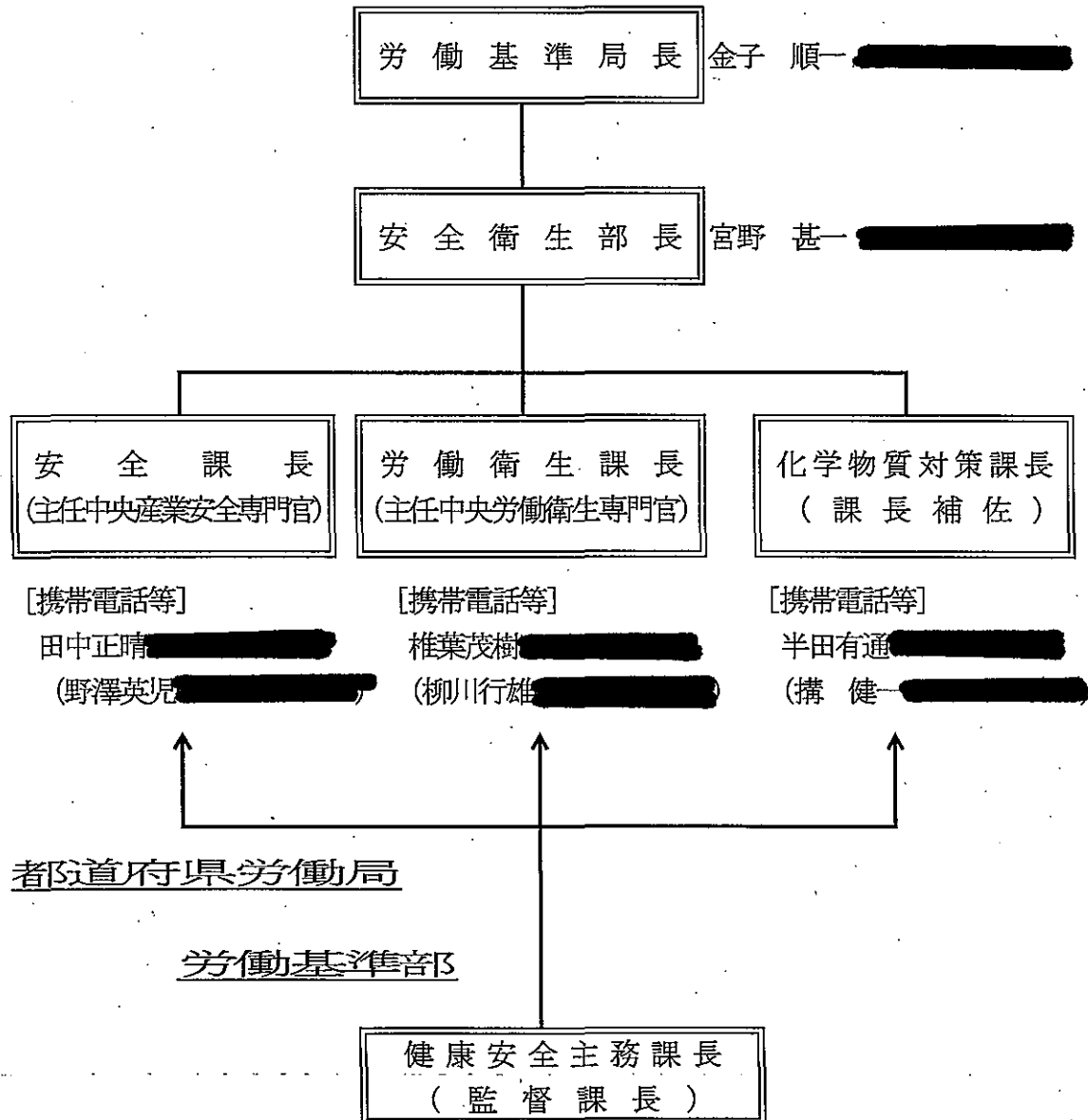
主任中央労働衛生専門官	柳川 行雄	(携帯: ██████████)
調査官	毛利 正	(携帯: ██████████)
副主任中央労働衛生専門官	安達 栄	(携帯: ██████████)

3 化学物質対策課 (直通電話: 03-3502-6756)

課長補佐	構 健一	(携帯: ██████████)
中央産業安全専門官	奥野 正和	(携帯: ██████████)
中央労働衛生専門官	須藤 祥	(携帯: ██████████)

重大災害発生時における情報連絡網 (平成23年7月29日現在)

本省



※独立行政法人労働安全衛生総合研究所労働災害調査分析センターへの災害調査協力要請について

(昼間) 042-491-4512

(夜間休日) センター長 吉田 哲